

「教育センターの複合化」に関する連絡会 開催記録

第一回

日時	2022年9月26日(月) 14:30~15:55
会場	町田市教育センター 2号館3階 木曽地区協議会地域活動室
出席者	<p>【協議会・連合会・自治会】</p> <p>木曽地区協議会 4名(うち1名は連合会と兼任)</p> <p>木曽地区連合会 2名</p> <p>住宅公社境川団地自治会 2名</p> <p>境川自治会 2名</p> <p>【町田市】</p> <p>政策経営部企画政策課、政策経営部経営改革室[◎]、防災安全部防災課[◎]、市民部市民協働推進課[◎]、保健所保健総務課[◎]、保健所保健予防課[◎]、子ども生活部子ども総務課、子ども生活部子育て推進課[◎]、子ども生活部子ども家庭支援センター[◎]、子ども生活部子ども発達支援課[◎]、学校教育部教育センター</p> <p>【東京都住宅供給公社】</p> <p>住宅総合企画部 建設・住宅改善推進課 プロジェクト推進係[◎]</p> <p>(凡例) ◎: リモート参加</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事次第 ・ 第1回「教育センターの複合化」に関する連絡会_説明資料 ・ 町田市町田駅周辺公共施設再編構想(プロジェクトC抜粋) ・ 町田市境川団地地区まちづくり構想
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 町田市の公共施設の現状と再編の取り組みについて 2 教育センターの複合化について
議事要旨	<p>(凡例) ○: 参加者 ●: 町田市</p> <p><●資料「第1回「教育センターの複合化」に関する連絡会_説明資料」について説明></p> <p>○まちづくり構想については、東京都住宅供給公社とコラボレーションで行うものと思うが、境川団地の16~9号棟、自治会事務所、ウェルシアまでのセンターゾーンの南エリアの動向がわからない。都市計画変更に関わる資料の縦覧において用途地域が変更されることを確認したが、用途地域の変更がなされるということは、何か具体的な計画があるのではないか。東京都住宅供給公社の方でどのような計画があるのか、現在の検討状況をお聞きしたい。</p> <p>●センターゾーン南エリアの動向については、町田市としても事態の変動は把握していない。センターゾーンについては、「町田市境川団地地区まちづくり構想」において「ステップ1」としているが、このステップで現在具体的に動きがあるのは教育センターのみである。今回併せて用途地域を変更しているのは、「ステップ2」以降も見据えたものであり、必ずしも同時進行ではない。</p> <p>○承知した。センターゾーンの南エリアは東京都住宅供給公社のやることなので、市が答えられることは限られると思う。「教育センターの複合化」と同時進行でないことは理解した。</p>

<●資料「町田市町田駅周辺公共施設再編構想（プロジェクトC抜粋）」について説明>

○子ども・子育て支援に特化した施設というコンセプトだと思うが、高齢者が集まることのできる場所などはどう考えているか。

●コンセプト（案）に示す「地域に開かれた日常的に使える心地よい居場所」として「居場所機能」や「民間機能」で提供していきたいと考えている。どのような機能があると良いと思うか。

○高齢者の生きがいづくり、趣味活動の場として借りる場所が少ないので、気軽に集まれる場所があると良いと思う。

○避難所機能を確保してほしい。また、料理教室などができるキッチン設備のある部屋があると、災害時の炊き出しにも使えるので良いと思う。「民間機能」については、フードバンクなど、災害時の食糧確保に関する機能があると良いと思う。

●教育センターは現在も地震災害時の避難施設に指定しており、新施設についても引き続き避難施設として使えるようにしたいと考えている。

○「わくわくプラザ町田」の機能は入るか。

●「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」策定時には「わくわくプラザ町田」の町田市シルバー人材センター、町田市老人クラブ連合会の各事務局の機能を複合化することとしていたが、この度のコンセプト、導入機能の整理の中で、これらの機能を複合化することを見送らせていただいた。

○これまであった高齢者の支援に関する側面がなくなったということか。

●この度のコンセプト、導入機能の見直しの中で、子ども・子育て支援に特化したかたちで整理させていただいたことから、施設のコンセプトと馴染みが薄い町田市シルバー人材センター、町田市老人クラブ連合会の各事務局機能の複合化は見送らせていただいた。

●「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」策定時には町田市シルバー人材センター、町田市老人クラブ連合会の各事務局機能を移転することを想定していたが、高齢者の方々が日常から使える「居場所機能」の方が地域のニーズや施設のコンセプトに合致すると考え、「事務局機能」から「居場所機能」にシフトチェンジした。今後、この「居場所機能」について、会議室が良いのか、ピロティ、オープンスペースのようところが良いのかなど、地域の方々ご意見をいただきながら具体化していきたいと考えている。

○「わくわくプラザ町田」は引き続き今の場所にあるということか。

●そのとおり。

○「わくわくプラザ町田」の現在の場所は不便と感じる。

●「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」策定に向けた市民意見募集では、町田市シルバー人材センター、町田市老人クラブ連合会の各事務局機能を教育センターに移転すると不便になるとの声を多くいただいており、その設置場所については様々なご意見をいただいている。

○施設ボリュームの検討は進んでいるか。その中で、「民間機能」の施設ボリューム、「公的機能」のボリュームを整理し、「境川エリアの地域住民向けの機能には、これくらいのボリュームが割り当てられる。」などの想定があれば教えていただきたい。

●施設ボリュームに関する詳細は今後の連絡会の場で共有させていただきたいと考え

ているが、現在のところ「公的機能」は1万㎡ほどの延床面積が必要と想定している。そのため、単純計算ではおよそ半分が「公的機能」というようなイメージになると思う。

- 施設ボリュームに関しては、建物の階数やレイアウトなどにもよるため、規模感が共有できるイメージが整理できた段階で共有させていただきたいと考えている。
- 地域の方は、現在の教育センターをいつ建て壊して、いつ建設して、新しい施設がいつできるのかを知りたい方が多いと感じていますが、そのあたりはどうか。
- 2024年度の公募の結果にもよるが、想定では、2024年度後半から2027年度までのおよそ3年間で解体・建設等の工事をして、2028年度に新施設をオープンする想定である。
- 周辺住民は具体的などころを知りたいとの声が多いので、適宜情報共有していただきたい。
- 将来の教育センターの検討をする際には、将来の人口推計も見ながら検討すべきと思う。総務省のデータによると、2040年には高齢化がより進んでいるという推計となっている。例えば、九州の方ではメタバースで高齢者の交流が行われている事例もある。大阪万博では、空飛ぶ自動車に関する展示も行われるのではないかと。このように、ここ10年で状況は大きく変わると思うので、未来の人に必要のないような機能とならないように留意する必要があると思う。
- ご指摘のように、将来のニーズを予測しながら検討していく必要があると思う。また、将来のニーズの変化にも柔軟に対応できるよう流動的に使えるような設えとするような工夫も考えられる。
- ヘリポートの設置は検討しているか。
- 検討していない。
- ドクターヘリが離着陸できるヘリヘリポートがあると良いと思う。
- 今後の検討の参考とさせていただく。
- みんなで使える広場など、誰でもお茶を飲んだり運動したりできる機能があると良いと思う。また、木曾地区協議会の会議室については、地域の拠点として活用できるスペースもいただけるとありがたい。
- 木曾地区協議会の地域活動室については、市民協働推進課とも調整しながら検討する。
- 地区協議会に関わらず、コミュニティセンターにあるような会議室が大・中・小あり、市民の方が利用できるが良いと思う。
- 今後の検討の参考とさせていただく。
- 境川団地はこれまで人口の変動が大きいエリアであったので、人口動態の予測はしっかり留意してほしいと思う。
- 地域への説明会の対象範囲はどのように考えているか。境川団地エリアだけだと不公平感が出るのではないかと。●地域への説明会については、工事等で影響の大きい周辺住民を対象にと考えているが、周知の方法など、不公平感が出ないように工夫できればと思う。また、全市的な意見の聴取については、「市民意見募集」で行いたいと考えている。
- 「公的機能」について縮小して余った土地は売却するか。
- 「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」策定段階では、定期借地権方式にて民間事業者へ貸し付けることを想定していたが、施設のコンセプト・導入機能の見直しにより

施設ボリューム等も変わってきているので、最適な手法について並行して検討していきたいと考えている。

○定期借地権方式にて民間事業者へ貸し付ける場合でも、避難施設機能について確保できるように貸付けの条件を整理していただきたい。

○グラウンドはどうなるのか。

●敷地全体を活用して再配置することを想定しており、グラウンド機能はなくなる予定である。

○現在、野球、サッカー等でグラウンドを利用されている人たちはどうなるのか。

●利用団体の方々には、すでにお伝えしているが、今後も丁寧に調整していきたい。

○近隣の境川クリーンセンターの上部利用に関する検討と連動しているのか。

●連携・調整している。

○計画地は、古淵駅から3つの団地を繋ぐ交通の要となる位置にあると思う。南北に長い市域の縦にはJR横浜線があると思うが、これに対する横の線として多摩都市モノレールやとバス網を計画的整備していただきたい。

○計画地は町田市所有の土地か。

●そのとおり。

●「町田市境川団地地区 まちづくり構想」の13ページには、南エリアはコワーキングスペースやコミュニティカフェの導入を目指していくことを記載している。健康増進など、高齢化する地域住民のニーズに応えることのできるサービスの導入について、東京都住宅供給公社としても課題は認識していて、将来的にそれに対応するために今回都市計画変更をさせていただくという認識でいる。南エリアのスケジュールについては未定だが、市としては、このような東京都住宅供給公社との検討・調整を行ったうえで「町田市境川団地地区 まちづくり構想」を策定し、都市計画変更を進めている。

○南エリアのスケジュールについて、すぐなのか、ずいぶん先なのか。また、ずいぶん先ならなぜ今都市計画変更が必要なのか。境川団地も随分老朽化してきているので、手を加えるということは理解できるが、具体的な説明がないと、教育センターと抱き合わせで南エリアも都市計画変更をしたようにも見えてしまう。東京都住宅供給公社には、地域住民に対ししっかりと説明していただきたいと考えている。また、「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」からコンセプトや導入機能候補が変わったとのことだが、その説明と配布資料「町田市町田駅周辺公共施設再編構想（プロジェクトC抜粋）」の内容に整合が取られていないように思うので、その旨はこの連絡会の冒頭で説明すべきではないか。

●失礼しました。ご指摘ありがとうございます。

○「境川団地地区」という表現はどうかと思う。町田市と東京都住宅供給公社の「共同開発」の計画のようにも見えてしまう。

○「町田市境川団地地区 まちづくり構想」の地図では、周辺住民のエリアが見切れてしまっています。構想の名称からも境川団地住民以外の周辺住民は関係ないように受け取られかねないと思う。例えば、「境川地区」や「木曽東地区」というような名称の方が良いように思う。

●「町田市境川団地地区 まちづくり構想」については、「一団地の住宅施設」の指定を解除することを大きな目的として、「一団地の住宅施設」指定エリアをベースに構想の対象を設定した。この度お集まりいただいたのは、「教育センターの複合化」に関

	<p>する検討を目的としており、影響のある周辺エリアの皆様にもご意見をいただきたいと思いき出席いただいた。</p> <p>○承知した。そのような経緯をしっかりと地域住民に説明・共有していただきながら進めてほしいと思う。</p> <p>●今後の本連絡会の開催については、およそ月1回の頻度で進めていくかたちでよい。</p> <p>(異議なし)</p>
--	--

第二回	
日 時	2022年10月24日(月) 14:30~15:45
会 場	町田市教育センター 1号館4階 1-402 会議室
出席者	<p>【協議会・連合会・自治会】</p> <p>木曽地区協議会 4名(うち1名は連合会と兼任)</p> <p>木曽地区連合会 1名</p> <p>住宅公社境川団地自治会 2名</p> <p>境川自治会 2名</p> <p>【町田市】</p> <p>政策経営部企画政策課、防災安全部防災課[◎]、保健所保健総務課[◎]、保健所保健予防課[◎]、子ども生活部子ども総務課、子ども生活部子育て推進課[◎]、子ども生活部子ども家庭支援センター[◎]、子ども生活部子ども発達支援課[◎]</p> <p>【東京都住宅供給公社】</p> <p>住宅総合企画部 建設・住宅改善推進課 プロジェクト推進係</p> <p>(凡例) ◎: リモート参加</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事次第 ・ 第2回「教育センターの複合化」に関する連絡会_説明資料
議事次第	1 (仮称) 町田市子ども・子育てサポート施設整備基本計画 素案について
議事要旨	<p>(凡例) ○: 参加者 ●: 町田市</p> <p><●資料「第2回「教育センターの複合化」に関する連絡会_説明資料」について説明></p> <p>○町田市町田駅周辺公共施設再編構想では「子どもの発達と教育上の課題への総合的支援」と、「高齢者の社会参加や生きがいづくりと地域の活性化」の2本立てのコンセプトであったと思うが、今回のコンセプトでは子どもだけに特化してフォーカスされている点で方向性が大きく変わってきている。</p> <p>境川団地の高齢化率は、市平均が27.1%に対し45%超となっている。ですから、当然何がしかの高齢者に関してのサポートがあるものと考えていたので、どうしてこのようなコンセプトに変更となったのか疑問に思う。教育センター用地は境川団地のど真ん中にある。また、木曽地域は高齢化率も高く、単身者世帯も多い。このような現状から、高齢者のサポートに関する機能を期待していたがなくなってしまった。木曽の実情を考えると、高齢者に関してのところは抜け落ちてしまっていることは不満に思う。</p>

また、最近では学校の先生の労働環境や待遇が社会問題になっている。学校の先生は仕事量が多く大変で、保護者の対応などで精神的に病んでしまっている方がたくさんいると聞いている。このような現状を踏まえ、先生方の負担を軽減することをすべきと思うが、このような施設をつくることで逆に先生方の負担が増えてしまうことを危惧している。

○この連絡会の議事録は共有してもらえるか。

●議事要旨として共有する。

○新施設には基本的に子どもに関する機能が導入されると思うが、なくなる機能もあれば新規で生まれる機能もあると思う。例えば都立児童相談所は新規での導入を目指す機能。一方、すみれ教室（子ども発達センター）のプールはなくなる機能。すみれ教室（子ども発達センター）のプールは、男女関係なく親子で着替えができた、プールの水温の調節がしやすかったりと、他の市立温水プールにはない機能があるので、その辺りも考慮すべきと思う。

また、地元の人が使えないものが導入されるのはおかしいと思う一方で、ネグレクト、DV、就学が難しい子どもが利用する施設に、不特定多数が利用する施設を複合化することが適切かどうかという問題もあると思う。例えば病院が複合化された場合、救急車のサイレンが鳴り響くようなところで教育センターや子ども発達センターを利用される子どもが安心して利用できるのかといった音の問題のほか、フリースペースを設ける場合、動線や臭いなど様々なことに配慮が必要になると思う。このように考えると、4つの機能を複合化することには無理があるように思う。例えば、ここは子ども、ほかの場所で高齢者というような提案があるなら理解できる。木曾地区の現状を踏まえた提案とすべきと思う。

また、意見が言いたい人が言える場として、ほかの人もこの連絡会に参加できるようにすると良いと思う。

グラウンドはなくなるということか。

●グラウンドはなくし、地域の利便性向上等につながる民間サービスを導入するなど、敷地をより効果的に活用したいと考えている。整備可能な施設の規模としては、公的機能と民間機能それぞれ 10,000 m²ほどを想定している。木曾、境川団地の地域のニーズに合わせた地域の方々が利用される機能については、現時点ではどのような機能が導入できるか確約はできないが、民間機能において導入していくことを想定している。

○これからは、時間もお金もない中でシェアしていくという考え方が必要と思う。例えば、子どもからお年寄りまで幅広い方が集まれる場所とすることで、地域の活性化を図るなど、先進的なコンセプトにできれば、全国的にも注目される施設となると思う。民間事業者に土地の半分を貸すということか。

●現在のところそのように想定している。

○導入する民間機能を確約できないということは理解できるが、それでは地域は賛成しにくいと思う。

○「(仮称)町田市子ども・子育てサポート施設」という名称は、子どもだけのコンセプトになっていると思う。昨年度、町田市町田駅周辺公共施設再編構想や町田市境川団地地区 まちづくり構想の策定に向けても何度か市とお話しさせていただいてきたが、このようなコンセプトの変更について事前の説明はなかった。前回の連絡会ではじめて町田市シルバー人材センター事務局の機能が複合化されなくなったことを知

ったというような状況である。

この連絡会は、地域住民と協議する場ではなく、ただ市から連絡事項を伝える場という位置づけか。当初は懇談会だと思っていたが連絡会になり、高齢者支援センターはメンバーから除外されたと言っていた。このようなことだと、感じとして良くないと思う。コンセプトや進め方などを変更するのであれば、その事情について説明があって然るべきである。

また、「連絡会」という名称はどうか。この会の発足は6月から後ろ倒しになったが、結論を出す時期は1月で決まっている。計5回5時間では、言いたいことを言うには時間が少なく、市の言いたいことを伝える場になってしまうのではないかと思う。最初この話を聞いたときは、高齢者のためのすごく良い施設ができるといいと思った。しかし、意見が通用しないのであれば、力の入った議論はできなくなる。

○この連絡会の場で意見等を言っても、既に市の方でほとんど決まっているのではないかと思ってしまう。連絡会で意見を言っても実りが無いのではないか、そのようにとらえている委員もいると思う。この場がしっかりと議論でき地域の方に納得していただけの場になると良いと思う。

○すみれ教室（子ども発達センター）のプールについて、私は以前身体障がいのある方の遊泳介助をしたことがある。この施設を考えるうえでは、利用者に健常者だけでなくそのような方もいるということも考慮してほしいと思う。例えば、プールを設置できれば、障がい者だけでなく、高齢者もプールを活用して運動できるということも考えられる

地域の方の中には、定年後、地域とのつながりが薄いような人も多いと思うので、誰でもつながりを持てるような施設にしてほしい。

また、子どもが土に親しめるような場所、農園などがあると良いと思う。先日芋ほりを企画したら、300人近く集まった。そのような場所を求めている人は多いと思う。

○この場で要望を聞いていただくことができるのか、説明会の類のものなのか、そこをはっきりしてほしいと思う。

○高齢者のことが少ししか書いていない。この少しの記載の部分も実現するかどうか分からない。

○市の見込みが甘いと思う。人口動態の推計によって先を見据えて考えてほしいと思う。

○単身世帯や高齢者が増加し、少子化が進む中で子ども会もなくなりつつある。若い世代は戸建て主義の考え方があり、境川団地に長く住み続ける若い方は多くない。木曾境川小学校も廃校予定とのこと。そのような地域の実情、動向も踏まえて検討すべきと思う。都立児童相談所の誘致については、民生委員として都立児童相談所があったら良いなという気持ち以前からあったので、良いと思う。子どもに関する相談ができ、子ども家庭支援センターだけでなく、色々な支援のつながりが持てるような施設にしてほしいと思う。

○高齢者の増加という地域の特性を踏まえ、どのように高齢者の機能を導入していくか考えるべき。例えば、子どもと高齢者がコミュニケーションをとれる場所とするのはどうか。そうすることで、高齢者の健康・生きがいづくりにもつながると思う。

○今後、計画素案、計画案と議論を進めていくことになるようだが、ここで出た意見を計画に反映してもらえるのか。

●「連絡会」という名称で語弊を招いてしまい申し訳ございません。この場でいただい

たご意見の計画への反映については、反映できる内容、できない内容は当然あると思うが、意見は市として受け止めさせていただき、検討させていただく。

また、地域の方々が利用される機能のことがあまり反映されていないとのご指摘につきましても、分かりにくく大変申し訳ございません。地域の方々が利用される機能については、新施設のコンセプトの「地域に開かれた日常的に使える心地よい居場所」というところで表現させていただいた。このコンセプトにあわせて、導入機能についても、町田市シルバー人材センター、町田市老人クラブ連合会の各事務局の機能ではなく、日常的に使っていただける「居場所」としている。この「居場所」は、子どもだけでなく地域の方が立ち寄れる場所を想定しているが、全体的に子どもの色が強く伝わりにくかったと思う。「新施設の利用イメージ」の中で、「地域の団体の活動拠点ともなっていて、ここにすれば地域の誰かがいると思える点も安心感につながっている。」、「地区の中心に位置する要の施設として、日常から非日常に至るまで、地域の方々の拠り所となっている。」と表現させていただいたが、伝わりやすいよう表現を工夫させていただく。

連絡会の開催回数や会議時間については、月1回1時間の計5回5時間としているが、本日いただきましたご意見を受け、皆さんのご負担とのバランスも考慮させていただきながら、必要に応じ回数や時間を増やすことも検討させていただく。

この場にご出席いただいている方以外の利用団体等の方々との調整については、この場でなく他の場でも意見交換ができるよう準備を進めている。

この連絡会を、双方向の対話の場として、実りの多いものとしていきたいと考えている。そのためにも、いただいたご意見のどこが反映できて、どこが反映できなかったのか、ご説明もさせていただきながら進めていきたいと思うので、引き続きよろしく願いいたします。

- 「新施設の利用イメージ」にある「地域の方々の拠り所」のような施設が実現できるようにしてほしいと思う。
- 子どもセンターただONのような子どもセンターの機能の導入は考えているか。
- 子どもセンター機能の導入は想定していない。

第三回

日 時	2022年12月2日（金）14：30～16：00
会 場	町田市教育センター 1号館4階 1-402 会議室
出席者	<p>【協議会・連合会・自治会】</p> <p>木曽地区協議会 3名（うち1名は連合会と兼任）</p> <p>木曽地区連合会 2名</p> <p>住宅公社境川団地自治会 1名</p> <p>境川自治会 2名</p> <p>【町田市】</p> <p>政策経営部企画政策課、財務部営繕課[◎]、防災安全部防災課[◎]、市民部市民協働推進課[◎]、地域福祉部福祉総務課[◎]、保健所保健総務課[◎]、子ども生活部子ども総務課[◎]、子ども生活部子育て推進課[◎]、子ども生活部子ども家庭支援センター[◎]、子ども生活部子ども発達支援課[◎]、学校教育部教育センター</p> <p>【東京都住宅供給公社】</p> <p>住宅総合企画部 建設・住宅改善推進課 プロジェクト推進係[◎]</p>

	(凡例) ◎ : リモート参加
資 料	・ 議事次第 ・ 第3回「教育センターの複合化」に関する連絡会_説明資料
議事次第	1 基本計画(素案)について 2 新施設の使い方について (1) 2028年のオープン~2033年頃(今から約10年後) (2) 2050年以降を見据えて(今から約30年後~)
議事要旨	<p>(凡例) ○ : 参加者 ● : 町田市</p> <p><●資料「第3回「教育センターの複合化」に関する連絡会_説明資料」について説明></p> <p>○非常に説明スライドがわかりやすかった。民間では作れない施設だと思う。行政でないと実現できない施設であるという印象を受けた。細かい機能として何を入れるかというのは今後の話になると思うが、必要な公共機能は整えつつ、地域の人も使えて、また地域外からも来てもらえるような、「木曾といえばここ」という施設になればみんなに愛されるものになると思う。スライドにも出てきた「湘南台文化センター」は住民票の発行窓口や地域活動スペース、プラネタリウム、児童館、防災機能が複合されている。33年前に建てられた施設だが、いまだに湘南台では有名である。スペインのグエル公園は子どもからお年寄りまでその場でいろいろなことができる。いるだけでホッとできるような空間が創られているので参考にしてほしい。</p> <p>○これまでにあった主な意見の中で、高齢者に関する意見が多い一方、これから未来を担う若い世代である子どもについての意見が少ないという印象。コミュニティと防災機能の充実について、同じ敷地に併設する民間の一部機能と連携できるように配置とあるが、この民間施設はどのようなものを想定しているか。</p> <p>●民間事業者については、今後2024年度に公募をする中で提案を受けて決定するため、具体的には決まっていない。現時点では「地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる民間サービス」という方向性を示している。ある一定は制限されるので、方向性にあわないパチンコ屋などははいってこない。昨年度、民間機能について、市民にアンケートをとった結果、1位が児童関連施設、2位が医療関連施設、3位が高齢者関連施設ということで、これらの機能を市民の方は望んでいるのではないかと考えている。この結果を加味して整備事業者を選定できるよう、公募の条件を設定していきたい。</p> <p>○この計画を策定するにあたって有識者へヒアリングしているかと思うがどのような方と話をしているか。また、地域に発展には欠かせないということで、子どもたちが地域になじんでいける要素のものを考えていただきたい。高齢者はもちろん大切だが、長い目で見たときには、子どもをどうするかを考えたほうが地域が栄えるのではないか。</p> <p>●有識者については、会議体を設置して意見を伺うという方式で行っていない。教育センターや子ども発達センターについては、専門的な知見が求められる中で、それぞれ専門の大学の先生に個別に意見を伺う機会をこれまで2回ずつ設けている。また、広い敷地を使って建物整備するため、地域への影響も大きいということで、まちづくりの専門の方にも2回意見を伺って計画に反映している。子どもたちが地域になじんで</p>

いける要素のものを考えていただきたいというご意見については、今回のハードのところではないソフトの意見として大切にしながら検討して進めていきたい。

- 子どもからの意見を聞くような機会を設けて計画を進めていただきたい。
- ご指摘のとおり、まだお子さんから意見を直接聞く機会を設けられていないので、今後施設の使い方を考える際には、そのような機会を設けたい。
- 少年野球でグラウンドを利用している団体から話を聞いたが、今後使えなくなることの説明を受けていないと言っていた。野球連盟にはその旨話をしているか。
- グラウンド、体育館利用団体に対しては、昨日12月1日に臨時会議を行い、本計画について説明させていただいた。
- 野球連盟が承知していたとしても、各チームには話がいったないと思う。サッカーチームについても、工事があることは知っているがグラウンドがなくなることは聞いていないと言っていた。体育館がどうなるのか、などいろいろと質問が私のところにきている。利用者にきちんと話す必要があると思う。また、先日市議会議員からは、計画のシナリオができているのだから、いろいろ検討しても意味ないのではないかともいわれた。その通りだと思う。プロセスが大事であると思う。また、手紙でも医師会歯科医師会の移転について、アクセスの問題など市のほうに説明をしながら検討しているという手紙がきた。医師会歯科医師会との調整状況はどうなっているのか。
- グラウンド、体育館利用団体については、昨日の会議にご出席いただければご理解はいただけたかと思うが、引き続きご意見が寄せられるようなら、教えていただきたい。
- グラウンド、体育館利用団体に対してなかなか直接ご案内ができていなかったため、全利用団体向けにこれまでの検討経過を説明させてほしいということで案内文をお送りし、昨日臨時会議を行った。時期が遅れてしまったことについてはお詫びを申し上げます。この場で意見交換する内容と、実際の利用者からご意見いただくところの場を分けながら進めさせていただいている。医師会歯科医師会との関係については、意見交換をしている。それぞれの師会にご意見があることも承知しており、引き続き意見交換しながら検討を進めていきたい。
- アクセスの問題、医師会の確保、事業継続可能かどうかなど、関係者から心配の問い合わせが市議会議員に届いているとのこと。利用者の意向を十分に調査すること、診療機能の管理者である医師会歯科医師会が納得できるような取り組みにするよう市に求める。と市議会議員が言っていた。そのような意見があるため、我々だけでなくさまざまな方から意見を聞き、プロセスをしっかりと踏んで進めてほしい。
- 本日の資料については丁寧に記載していただいているという印象。一方で、今回で3回目の連絡会であるが、果たして前進しているか疑問である。私たちがこの場で意見を述べて、その意見がどのように着地していくか、どこまで踏み込んで議論するかがあまり見えてこない。何か新しい要素が組み込まれたものが12月23日の説明会で説明されるという理解でよいか。
- 説明会では12月15日から開始する市民意見募集で公表する基本計画の素案について説明する。
- 素案ということでそこまで詳細には示さないとはいえ、今年度中に基本計画を策定するというスケジュールの中でこのぐらいのスピード感で大丈夫なのか。それから今まででた意見に対してどのように計画に反映したか説明いただいた。私たちとしての意見はこれに近いと思うが、それをどのようなかたちで具体的に実現していくか。例え

ば、コミュニティスペースについて利用イメージや大まかな広さなどを我々の意見の中から抽出して具体的に示していくと思うが、時間的な問題で間に合うのか危惧している。

- 12月15日の市民意見募集に向けて内容を精査しているという段階のため、足踏みしているように見えるかもしれない。全体のボリューム感や配置イメージは市民意見募集ではお示ししないが、策定段階では入れていきたいと考えているため、今後この連絡会の中でも議論していきたい。
- 私たちの意見は反映されるのか。既に決まっていることを議論しているように思えて、意味がないのではないか。
- 今までいただいた意見については、説明資料の中にあるように、計画内のコンセプトや整備方針の文言へ反映させていただいている。新しい機能を追加するといったようなご意見は公共施設のボリューム上限がある中でなかなかご希望にそえないと考えている。一方で、どのような民間機能がよいか、スペースの使い方などソフトに関することについては、公募条件に加味できるかと思うのでご意見あればお願いしたい。今回は整備の基本計画なので、盛り込めるソフトの視点には限りがある。
- そういうことではなく、このように決まっていることに対して意見を言っても反映されないのではないか。そうであればこの話し合いも意味がないのではないか。
- 素案を作成している段階で、この後市民意見募集も行い、そこでいただいた意見も踏まえ修正していく予定。お示ししているのはあくまで市としての考えなので、それに対してご意見いただければしっかりと受け止め検討させていただきたい。
- 5年先の話であまりピンとこない。学校のPTAを通じてなど若い人たちの意見を聞いたほうがよい。2050年を見据えて考えるといわれてもイメージがつかない。一番心配しているのはグラウンドを使っている人たちはどうなるのか。先ほどの話では、使えなくなることを知らないという団体もあるようなので、機能や使い方の前にまずはその人たちのフォローをする必要があるのではないか。
- グラウンドを使われている地域の方々からの声が直接届くもの届かないものがある中で、皆さんのような地域の代表の方から聞き取ることができればということでお集まりいただいている。今いただいた意見も踏まえて検討していきたい。
- グラウンドと体育館が使えなくなることについては、今年の4月に利用者団体会議の中で既にお伝えをしている。その中でなかなか直接利用者の方とお話する機会がなかったため、12月1日にそのような場を設けさせていただいたという経緯のため、昨日初めて説明したということではない。
- 今回の計画の内容は、単なる建て替えという印象で参加していたが、かなりのものが盛り込まれているというのは理解できた。その場合、市の予算で費用対効果を意識するため、無制限に盛り込むのは難しいと思う。ある程度の歯止めが必要だと思う。また、出来上がった建物の運営については民間に任せるものは民間に任せてしまえばよい。市で管理していくものについては、だれが統括していくか、特定の団体が優先的に使えるようにするのはよくないし、中立的な人が管理しないといけない。
- 費用対効果、市の負担をなるべく軽減するという考え方は公共施設再編のテーマとしているため、民間事業者と連携するというのをメインに考えている。発注方法としても、設計、施工、建設、維持管理を一括発注することで費用を抑えることも視野に入れて検討している。その中で民間活力を導入しながら費用削減に努めていきたい。また、2つ目のご意見の運営運用については、子どもに対するサービスについては市

	<p>で提供していくが、新しい建物全体をどう統括管理していくかについては、より良い方法を引き続き検討していきたい。また、一部の団体がえこひいきにならないような使い方については、例えば多目的室や体育館については、他の市内施設と同じように誰でも使えるよう、予約システム有料で貸し出せるようにと考えている。</p> <p>○交通アクセスについて以前意見したと思うが未反映となっている。立派な建物を建てても人が集まらないと意味がないように思う。そこへ行ける手段を増やすべき。路線バスの拡充と市独自の交通網を取り入れるといいのではないか。</p> <p>●交通アクセスについてはまちづくり専門の学識の方からもご意見いただいている。この件は長期的な交渉が必要となる内容のため現時点では反映できていないが、このようなご意見があるということは視野にいれながらアクセスしやすい方法を引き続き検討したい。</p> <p>○皆さんこのプロジェクトについて、今どの検討段階にいるか把握できていないように思う。市が図面を書いて建設するのではなく、コンペをして事業者を決定するために必要な条件を整えていくというイメージだと思うが、そのイメージについていけない。そのため遅れているのか順調なのか見えてこないと思う。全体の工程表を示してあげたほうがよいと思う。</p> <p>●おっしゃる通り。次回改めて全体工程をお示ししたい。</p> <p>○新施設の利用イメージで境川から散歩する絵が描かれているが、施設周辺に住む人の視点だけだと範囲が狭い話になってしまう、自家用車やバスなどで離れた場所から訪れているような視点も加えていけるとよいと思う。</p> <p>●次回連絡会について、対面か書面、開催方法の相談をしたい。 (対面か書面について、挙手により書面多数のため、今回は書面開催とした。)</p>
--	--

第四回	
日 程	2022年12月19日(金) ※書面開催
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 町田市子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画(素案) ・公共施設マネジメント情報紙「ぷらっと」第9号 ・第4回「教育センターの複合化」に関する連絡会_送付資料
議事要旨	(意見なし)

第五回	
日 時	2023年1月23日(月) 14:30~15:30
会 場	町田市教育センター 1号館 4階 402会議室
出席者	<p>【協議会・連合会・自治会】</p> <p>木曾地区協議会 3名(うち1名は連合会と兼任)</p> <p>木曾地区連合会 1名</p> <p>住宅公社境川団地自治会 2名</p> <p>境川自治会 2名</p> <p>【町田市】</p> <p>政策経営部企画政策課、財務部営繕課[◎]、防災安全部防災課[◎]、子ども生活部子ども家庭支援センター[◎]、子ども生活部子ども発達支援課[◎]、都市づくり部都市政策課</p> <p>【東京都住宅供給公社】</p> <p>住宅総合企画部 建設・住宅改善推進課 プロジェクト推進係</p>

	(凡例) ◎ : リモート参加
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事次第 ・ 説明会及び市民意見募集の結果について ・ (仮称) 町田市子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画 (素案) ・ 議事録の確認について ・ 新施設整備に向けた今後のスケジュールについて
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 説明会及び市民意見募集の結果について 2 基本計画 (素案) について 3 議事録の確認について 4 新施設整備に向けた今後のスケジュールについて (再掲) 5 その他
議事要旨	<p>(凡例) ○ : 参加者 ● : 町田市</p> <p><●資料「説明会及び市民意見募集の結果」について説明></p> <p>○ : 市民意見募集のご意見分類の「③機能について」、障がいのある方が利用できるプール機能とあるが、既存のものがあるのか。規模はどのくらいか。</p> <p>● : 障がいのある方が専用で使用しているプールが子ども発達センターの地下にある。その利用者からご意見をいただいている。障がいの方が使いやすいような設計となっている。車いすのまま入水できるスロープがあるほか、介助のしやすい更衣室になっており、健常者の人目を気にせず利用できる設備となっている。</p> <p>○ : 意見がでていているということは、今まで利用してきて改善すべき課題があるということか。</p> <p>● : 現在のプールは築年数が経っており、老朽化が進んでいるという点で使い勝手の悪さはあるかと思う。使い方や代替で利用できる施設がないかも含めてプールの取り扱いについては検討をしている。</p> <p>○ : 最新の技術で、できるだけ使い勝手のよいものになればと思っている。</p> <p><●資料「(仮称) 町田市子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画 (素案)」について説明></p> <p>○ : P15②地域コミュニティの活性化、防災機能の充実について、項目の2つ目に、地域活動の拠点となる諸室やスペースを整備するという文言は地区協議会として利用できるスペースをいう理解でよいか。</p> <p>● : その理解で問題ない。</p> <p>○ : 項目3つ目の「新施設の会議室・多目的ホール (屋内運動場) 等は、地域コミュニティの活性化を図るため、一般貸出を含め多機能化します。」とあるが、一般貸出については地域クラブなどの団体が使えるという理解でよいか。</p> <p>● : その理解で問題ない。</p> <p>○ : 教科書センターというのはどのような機能か。</p> <p>● : 現在の教育センター2号館に教科書センターがある。使用されている教科書を展示しているスペース。希望があれば誰でも見ることができる。町田市としての機能ではなく、南多摩第二地域の機能として設置している。引き続きこの機能は維持して</p>

いこうと考えている。

- ：P19の都立児童相談所の誘致について、現在の見通しとしてはどうか。
- ：現在東京都のほうで、多摩地域における児童相談所の配置案を検討している。その中で町田市が配置候補となっている。まだ確定していないものの、町田市としても東京都へ配置の要望をしている。
- ：児童相談所を設置するとなるとそれなりのボリュームが必要となり、本事業にも影響があると思う。児童相談所の誘致は時代にあった必要な機能だと思うので決してネガティブな印象はないが、新たな動きがあれば地域住民への情報共有をお願いしたい。

<●資料「議事録の確認」について説明>

- ：内容について修正等があれば、後日ご連絡いただきたい。

<●資料「新施設整備に向けた今後のスケジュール」について説明>

- ：2028年度オープンとあるが何月くらいか決まっているか。
- ：建物規模が大きくなっているため、建設企業にヒアリングする中でも工期については差がある状況のため、現段階では想定できていない。
- ：来年度以降も連絡会は継続とのことだが、同じメンバーで行うのか、変更するのか。
- ：メンバーについては皆さんにご意見を伺いたいと考えている。我々は地域代表である皆さんに引き続きお願いしたいと考えている。
- ：子育て世代の人を入れたほうがよいと思う。子育てをリアルタイムで経験している人の視点があったほうがよい。
- ：地域の中で子育て世代の代表となる方がいるようであれば教示いただきたい。
- ：ほかの部署でやっている地域懇談会のような場とコラボしてもよいと思う。また、木曾地区連合会の代表としてこの計画を聞いているが、すべてを連合会会員へ説明しきれない。例えば連合会の会長会に説明にきてもらうことも効果的だと思うがどうか。
- ：そのような場で説明の機会をいただけるようであれば是非調整させていただきたい。

<全体を通しての質問、意見>

- ：議事録について、1ページの議事要旨、参加者発言1つ目の文中で団地16~9棟とあるが、16~19棟の誤りではないか。
- ：修正させていただく。
- ：過去の質疑の中で、近隣の境川クリーンセンター上部利用に関する検討と連携して検討しているとあったが、この前、境川クリーンセンター上部利用の会議に出席した際、この複合化との連携について質問したところ、別事業として動いているという回答があった。本当に連携しているのか。
- ：担当者レベルでは情報共有を図っているが、境川クリーンセンター上部利用に関する検討会でそのような説明があったとのこと、今後よりしっかり連携して動くよう意識していきたい。
- ：子ども・子育てサポート等複合施設の建設費はどのくらいの金額か。
- ：現在建物の延床面積を精査している状況で、詳細に算出できていないため、仮の計

算ではあるが、延べ床面積約 12,800 m²とした場合、建設費は約 85 億円である。また、起債、補助金も検討している。

- ：市内人口の増加に伴い、公共施設が急激に増えた印象。今では無駄な建物だったように思える。人口減少が予測される中でたくさんのお金をかけて建てるのであれば、絶対に無駄な建物にはしたくない。
- ：無駄な建物にならないように時代のニーズに対応できるようなフレキシブルな建物にしていきたいと考えている。